

No. 90
2017.2.1

宇治田原町 議会だより



《目次》

臨時会.....	2~3P
12月定例会.....	4~6P
10議員が町政を問う.....	7~17P
12人からのひとことメッセージ.....	18P
インタビュー(村田壮さん).....	19P



構成決まる



第2回 臨時会

平成28年第2回臨時会は11月15日・16日に開催した。議員選挙後の初議会で議長に田中修議員、副議長に谷口重和議員が選出された。その他、常任委員会など議会の構成が決まった。また、監査委員には原田周一議員が提案され、賛成多数（賛成9、反対2）で、教育委員は全会一致で同意した。



監査委員
原田 周一



副議長
谷口 重和



議長
田中 修

職名		氏名			
府後期高齢者医療広域連合議会議員	浅田 晃弘	委員名	住所		
	藤本 英樹				
	馬場 哉				
	原田 周一				
	京都地方税機構議会議員			垣内 秋弘	立川
	城南衛生管理組合議会議員			松本 健治	荒木
	谷口 重和			南	
	浅田 晃弘			湯屋谷	
	山本 精			岩山	
	田中 修			郷之口	
	谷口 整			奥山田	
文教厚生 常任委員会	山内 実貴子	銘城台			
馬場 哉	郷之口				
原田 周一	緑苑坂				
藤本 英樹	禅定寺				
今西 久美子	郷之口				
総務建設 常任委員会	谷口 重和	南			
谷口 重和	湯屋谷				
浅田 晃弘	湯屋谷				
山本 精	岩山				
田中 修	郷之口				
谷口 整	奥山田				
委員名	住所				

新しい議会



臨時会

議会運営委員会

委員	長	松本健治
副委員	長	谷口重和
委員		垣内秋弘
委員		今西久美子
委員		谷口整

広報編集委員会

委員長	山内実貴子
副委員長	浅田晃弘
委員	垣内秋弘
委員	馬場哉
委員	山本英樹
委員	藤本英樹

人事案件

○教育委員会委員の任命同意



大嶋良孝氏
(南)

任期 平成28年11月26日～平成32年11月25日

【同意 全員賛成】



視察研修の様子

新庁舎建設調査検討特別委員会を設置

新庁舎建設に関する基本構想を受けて、導入すべき機能等を整理し、規模や敷地条件を含めて設計へつながる具体的な方策等を調査・研究していくため、「新庁舎建設調査検討特別委員会」を設置した。

委員長に谷口重和議員、副委員長に谷口整議員を選任し、委員は、12名全員で構成することとした。

12月定例会

平成28年第4回定例会は12月7日から20日まで開催した。表彰関係1件、予算関係5件(補正5件)、条例関係5件(制定1件、改正4件)、一般議案3件、人事関係2件が提案され原案通り可決した。請願1件が提出され採択した。また、発委1件が提出され全会一致で可決した。一般質問には10人の議員がたち、全員が「一問一答」方式で活発な議論を展開した。

人事案件

公平委員の選任同意



谷川利明氏
(奥山田)



奥村博己氏
(郷之口)

任期 平成28年12月22日〜平成32年12月21日
(同意・全員賛成)

教育委員会委員の任命同意



杉野三千代氏
(緑苑坂)

任期 平成28年12月21日〜平成32年12月20日
(同意・全員賛成)

新名神高速道路建設に関する特別委員会を設置

新名神高速道路建設に伴い、幹線道路、都市計画道路等の総合的な道路交通体系の確立及び地域活性化に向けた調査研究を行うため、「新名神高速道路建設に関する特別委員会」を設置した。委員長に垣内秋弘議員、副委員長に谷口整議員を選任し、委員は12名全員で構成することとした。

宇治田原町自治功労者表彰

12年間、町会議員として務められ表彰されました。

垣内秋弘氏

(同意・全員賛成)



新名神工事現場(岩山)

文教厚生常任委員会

国民健康保険税条例の一部改正

問 今回の改正の関連で関係する町の条例はないのか。

答 関係する条例は税条例と国保税条例の2条例である。
(可決・全員賛成)

新庁舎建設事業

1億500万円

宇治田原町山手線

整備事業

5,576万円

臨時福祉給付金事業

2,834万円

大型補正予算 可決

総務建設常任委員会

宇治田原町農業委員会の委員等の定数に関する条例を制定

問 従前の農業委員は23名で、法律改正に伴う条例改正により農業委員14名、農地利用最適化推進委員9名の合計23名となるが、地区割りは。

答 現在、案の段階であるが、基本的には推進委員9名で、地区を従前から9ブロックに分けているため、推進委員は1地区ごとに1人として、9名を配置し、農業委員14名で各地区を補う予定である。(可決・全員賛成)

宇治田原町税条例等の一部改正

問 町民税に係る改正で、法人税割を引き下げ

ることで、町の減収はどのようになるのか。

答 法人税は景気の動向が大きく左右される。正確に3年先のことを予想することは困難であるが、27年度の決算の課税標準額を使用して還付等を考慮に入らずに論理値で算出するならば、約5千万円程度の減収となる。(可決・賛成多数)

請願

建設従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願

アスベスト(石綿)を使用したことによる被害は、多くの労働者、国民に広がり特に建設従事者に、多くの被害者が生まれています。国が建設基準法などで不燃、耐火工法のためアスベストの使用を進めたことにより、建設資材等を通じて大量に使用されてきました。被害者の早期救済とアスベスト問題の解決のため、国に対して意見書を提出してほしいとの趣旨であります。(採択・全員賛成)

京都地方税機構規約の変更

(可決・賛成多数)

土地の取得(宇治田原山手線道路用地)の議決の一部変更

問 用地取得が困難であるとのことだが、用地買収できる見通しはあるのか。

討論

税機構規約変更

反対

今西 久美子議員

税機構は、徴収事務だけでなく、今後、課税事務も共同化するとしているが、地方自治体の課税自主権を侵害するもの。今回の規約変更は、課税事務共同化に向けた布石であり、反対。

討論

町税条例等の一部改正

反対

山本 精議員

法人町民税率を引き下げることで町の税収が減り、減った分の国からの交付税措置が不確定である。所得の低い人ほど負担が重くなる消費税を地方交付税の原資に充てることに反対。

意見書

建設業従事者におけるアスベスト被害者と遺族が生活できる救済の実施とアスベスト被害の拡大を根絶する対策を直ちにとり、問題の早期解決を図るよう要請する。

(可決・全員賛成)

答 事業に対してご理解いただけない状況であり、難しい状態である

が、用地取得に向けて引き続き交渉する。(可決・全員賛成)

補正予算特別委員会

一般会計

- 問** 職員人件費について職員団体との協議はどのようなになっているのか。また支給時期の予定はいつか。
- 答** 職員組合から要求書の提出があり、12月1日改定についての妥結書が提出された。支給時期は年明けで調整している。
- 問** ふるさと納税推進事業で充実を図った返礼品についての考え方と将来に向けての方策は。
- 答** 返礼品は5割相当とし民間のポータルサイトにも掲載予定。町のPR強化と町内事業者の宣伝になればと考える。
- 問** 地籍調査事業は町全域を実施するのか。
- 答** 町全域で実施することを目標としている。
- 問** 一時保育施設等整備事業について、増築位置は保育所などの位置になるのか。また、大人用の



ふるさと納税返礼品パンフレット

トイレを整備する計画はあるのか。

答 限られた敷地において様々な検討を進めている。職員の手洗いについても設置について検討していきたい。

問 職員の駐車場を別に整備する考えはあるのか。

答 近隣での職員の駐車場確保に向け取り組んでいる。(可決・賛成多数)

国民健康保険特別会計

(可決・全員賛成)

介護保険特別会計

(可決・全員賛成)

公共下水道事業特別会計

(可決・全員賛成)

水道事業会計

(可決・全員賛成)

町職員の給与に関する条例及び特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部改正

問 2つの条例がなぜ1つの議案になっているのか。

答 関連する条例である

会計予算名	補正額	補正後の予算総額	審議結果
一般会計	2億2,957万円	46億7,575万円	可決 賛成9・反対2
国保会計	△309万円	14億7,272万円	可決 全員賛成
介護保険会計	496万円	7億4,820万円	可決 全員賛成
公共下水道事業特別会計	△871万円	6億2,184万円	可決 全員賛成
水道事業会計	収益的支出	500万円	可決 全員賛成
	資本的支出	△81万円	

(千円以下切捨て)

ため。

問 扶養手当の改正で全体では増額・減額の割合はどうなるか。

答 7割が増額、3割が減額となる見込みである。

町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

(可決・賛成多数)

討論

一般会計補正予算

反対

今西 久美子議員

保育所の増築については、評価するが、議員、特別職の期末手当の増額には反対。町は新庁舎建設予定地について、住民への説明責任を果たしていない。基本設計に進む前に、住民の意見を聞き、理解を得る努力をすべき。

賛成

谷口 整議員

臨時福祉給付金事業をはじめ一時保育施設等整備事業など、住民生活に影響のある補正予算である。また、新庁舎建設事業や宇治田原山手線の整備事業など、重要な事業費が計上されており、町民の不安払拭に向け、丁寧な説明と更なる理解を求める努力を申し添え、賛成する。

討論

議員期末手当引き上げ

反対

今西 久美子議員

この間、議員報酬は2割、期末手当は連続で引き上げられた。消費税増税や年金の減額等で住民の暮らしや営業が深刻な時、議員はその実態に身を寄せて役割を果たすべきであり、引き上げには反対。

一般質問

ズバリ! 町政を問う

12月12日



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

	質問者	質問事項
1	松本健治	1. 西谷町政の4年間を振り返って 2. 災害に強い山づくり 3. 観光面の施策 4. 東京五輪（パラリンピック）に関して
2	垣内秋弘	1. 平成29年度の予算編成 2. 町長の政治姿勢 3. お茶の京都
3	谷口整	1. 地域課題 2. 地域密着型特別養護老人ホーム設置助成事業 3. 障害者差別解消法 4. 民生委員の選挙活動
4	山内実貴子	1. 子育て世代への支援 2. 宇治田原の玄関口の整備を 3. 安心安全対策

	質問者	質問事項
5	藤本英樹	1. 次期町長選挙 2. 福祉バス
6	山本精	1. 公共交通の充実 2. 防災対策 3. 専門医の招致
7	今西久美子	1. 高校生通学バス代 2. 新庁舎 3. 保育所
8	馬場哉	1. 放課後児童健全育成事業 2. 町内企業就業推進事業
9	浅田晃弘	1. お茶の京都
10	原田周一	1. 防災対策 2. 福祉政策 3. 高校生通学補助

傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴券は本会議当日に町役場2階総務課で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。ただくか、議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。

西谷町長の4年間を振り返って

【答】山手線、新庁舎など着実に取り組む

【質問】

間もなく4年間の任期を終えるが、当初の公約の達成度・実現度は。

【答弁(町長)】

官民一体で取り組んだ山手線整備では、京都府で事業着手準備調査費などの予算計上がされるな

ど進捗している。災害時の防災拠点の新庁舎も新築移転の道筋がついた。

住民と真心で対話する職員

の意識改革や部長制の導入など、それぞれ着実に取り組みを進めている

が道半ばのものもある。

【質問】

災害に強い山(まち)づくり

【答】危険木撤去の事例参考に啓発・指導を

【質問】

【答弁(産業観光課長)】

昨今では山に地権者も立ち入らない放置林が多い。これらが頻発する豪雨と重なって、下流域に大きな被害を引き起している。本町での対策は。

啓発・指導を行う。

【質問】

観光施策で宗圓の郷などの景観整備を

【答】整備の必要性あり、国・府に協力要請

【質問】

町の観光施策として、西の玄関口である(通称)立場線西ノ山地域からの「宗圓の郷や集落から驚峰山を望む」景観は素晴らしい場所のひとつである。現在放置状態であり整備するとともに、展望休憩所や物産販売所

【質問】

2020年東京オリンピック開催に関して

【答】府などと連携した取り組みを検討

【質問】

2020年は東京五輪の開催となる。子ども達が将来に活きる体験活動など、参加できるように取り組みはできないか。

【答弁(建設事業部長)】
京都市に理解と協力を要請する。

【答弁(教育部長)】
スポーツ文化の広がりにつながるなど、次年度以降京都府などと連携して取り組みができないか検討したい。



松本健治 議員



倒木・流木が土石流の原因にも



西の玄関口から本町を望む

29年度の予算編成の考え方・重点施策は

【答】第5次総計と創生総合戦略に基づく予算編成



垣内秋弘
議員

【質問】

平成29年度は第5次総

合計画を軌道に乗せ、地

域総合戦略の中間年に当

たり成果が期待される

年、各種プロジェクトの

推進、教育、子育て支援

をはじめ課題克服を図り

将来に希望をつなげる平

成29年度の予算編成の考
え方及び重点施策は。

【答弁(町長)】

人口減少の克服と地域

創生の着実な推進を主眼

として①健やかに安心し

て暮らせる②便利で快適

に過ごせる③活気にあふ

れる交流④子育てと学び

を応援する4つのまちづ

くり目標、及び①住民・

行政のパートナーシップ

の構築②効果的な行財政

運営の2つの行政の基本

姿勢に沿った効果的な取

り組みを推進し予算の重

点化を図る。

と不安が交差している

中、住民の理解が必要で

ある。実行に向け町長の

思いと決断は。

【答弁(町長)】

都市計画マスタープラ

ンに沿って道路や用途地域

の諸手続きを進めている。

新庁舎は庁舎建設委員会

の提言など様々な意見を

聞き、32年の開庁を見据え

建設予定地を決定した。

「町長の政治姿勢」公約の実施状況は

【答】50の事業は概ね着手、実施に至ったと認識

【質問】

西谷町長は就任以来4

年近くが経過するが、公

約の実施状況と成果は。

【答弁(町長)】

3つの公約の内「未来

に希望と責任」「暮らし

に安心安全」「行政に信

頼と真心」を主に実施し
てきた。50事業について
道半ばのものもあるが、
概ね着手、実施に至って
いると認識している。

お茶の京都の取り組みは

【答】「日本緑茶発祥の地」の価値や魅力を更に発信



茶畑(町内)

【質問】

平成29年度はお茶の京

都として諸活動を展開さ

れる。全国茶香服大会、

各行政区のスタンプラ

リー等のイベント検討

は。

【答弁(産業観光課長)】

日本緑茶発祥の地のブ

ランドが認知され、来訪

者の拡大に繋がる取り組

みを推進する中で茶香服

等も具体的に練ってい

る。



現庁舎

盛土に関する条例改正を

【答】地元の意向反映へ検討

【質問】

奥山田大杉地区での5万m²の建設残土埋立てと太陽光発電計画については、区民の反対で現場での「切盛」造成に変更された。今後「土砂を持ち込ませない」「夜間の監視」等不安払拭に向け、徹底した業者指導を。

【答弁(建設環境課長)】

奥山田大杉地区での5万m²の建設残土埋立てと太陽光発電計画については、現場パトロール等住民の不安を取り除けるよう業者指導の徹底に努める。

【質問】

現行条例では業者指導に限界がある。関係団体へも同意書を求める等見直しの考えは。

【答弁(建設環境課長)】

今以上に地元区民の意向が反映されるよう条例改正に向け検討している。

【質問】

京都の自然200選に選ばれるなど貴重な地域資源の化石活用は。

【答弁(社会教育課長)】

化石採取体験ができる

施設整備で新しい人の流れを創出し、奥山田地域の活性化に繋げたい。

【質問】

整備に当たっては、子供から高齢者までが憩えるような公園に。

【答弁(教育部長)】

地域の方々が幅広く利用できる付帯設備の整備も検討していきたい。

特別養護老人ホームの早期建設を

【答】町長が先頭に立ち努力する

【質問】

今年度予算に計上されている地域密着型特別養護老人ホーム設置助成事業がまだ執行されていない

い。入所希望者が多数いる中で今後の対応は。

【答弁(介護医療課長)】

小規模特養単独での収支バランスに厳しいもの

障害者差別解消法の取組状況は

【答】職員研修実施と「対応要領」作成に努める

【質問】

四月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行された。町の取組状況は。

【答弁(健康福祉部長)】

「不当な差別的取扱

い」の禁止や「合理的配慮」が求められている。

職員へは更なる理解を深める研修を実施し、また法律の趣旨に則り「対応要領」作成に努めたい。

「不当な差別的取扱



大杉地区の太陽光発電計画地



谷口 整 議員



対応要領の作成に努める職員

がん検診を子どもも健診と同時に

【答】現状での実施は困難

【質問】

保育所の待機児童解消の取り組みは。

【答弁(健康児童課長)】
多様な保育ニーズに対応するため、一時保育施設等整備事業費を補正予算計上している。

【質問】

保育所の待機児童解消

子育て世代のお母さん

方のがん検診を、乳幼児

健診時、同時にできないか。

【答弁(健康児童課長)】

健診時間が長時間に及び、現状での実施は困難



保育室の増設へ(町立保育所)



山内実貴子 議員

【質問】

だが、女性特有のがん検診の周知の機会となると捉えている。

【質問】

乳がんの早期発見のため、検査グローブを配布している自治体がある。積極的な取り組みが大切では。

【答弁(健康児童課長)】
自己検診用のグローブは有効な検査方法だが、自己検診を習慣化するには、気軽にできることもポイント。入浴時、石鹸をつけ触診するなど、浴室用のチェックシート等の啓発ツールの活用とあわせ検討している。

町の玄関口の整備を

【答】照明灯整備など検討していく

【質問】

宇治から宇治田原への道は、町の玄関口として樹木の剪定や外灯の設置など、環境整備が必要ではないか。

【答弁(建設環境課長)】

来年のお茶の京都や観光客集客のため道路施設整備も重要。照明灯整備など観光担当課と連携しながら検討していく。

【質問】

湯屋谷地区の宗円生家など、歩いて観光することも踏まえ、より細やかな案内板の設置を考えると。

【答弁(産業観光課長)】

より細やかでわかりやすい案内板の整備について地域住民の声も聞き検討していきたい。

防犯対策の取り組み、強化は【答】協定を締結、連携強化を図る

【質問】

年末の慌ただしい時期、防犯対策についての取り組み、強化は。

【質問】

高齢ドライバーの事故防止へ、運転免許の自主返納に向けた支援の取り組みは。

【答弁(総務課長)】

田辺警察署と協定を締結。更なる連携強化、防犯対策を積極的に推進していきたい。

【答弁(総務課長)】

運転免許証の自主返納に向けた方策について関係機関とも協議を進めていきたい。



宇治からつながる 宇治茶かおり回廊の標識

西谷町長2期目出馬意欲は

【答】支援者と相談し決断する

【質問】 問う。

29年2月に執行予定の

町長選挙、「第5次まち

づくり総合計画」、「ま

ち・ひと・しごと創生総

合戦略」の実現に向け、

町長の2期目出馬決意を

【答弁(町長)】

この4年間は無我夢中

で町政を預かり、議会・

住民の方々のご理解、ご

協力のもと無事に運営で

きたと感謝している。



藤本英樹 議員

将来の宇治田原町が活

力あるまちであり続ける

ためには、今後数年の町

政運営が鍵を握っている

と認識しており、ふるさ

と宇治田原のために何を

成すべきなのかを考えて

いる。

現在、支援者の方々と

も相談し、できるだけ早

い時期に決断する。

福祉バス利用者制限の緩和を

【答】地域公共交通検討委員会で議論を進める

【質問】

現在の福祉バス利用状

況は。

【答弁(建設環境課長)】

利用者は、高齢者、障が

い者、妊婦、幼児連れの

方を中心に南ルート・北

ルートを運行している。

平成27年度合計で1万

4,923人の方に利用

いただいた。

【質問】

福祉バスの利用者制限

を緩和し、小中学生の下

校時なども利用可能とし

て利便性を図れば、安全・

安心、利用率の向上にも

繋がるのではないかと

【答弁(建設環境課長)】

現在、「宇治田原町地

域公共交通検討委員会」

でアンケート調査を実施

し今後のあり方につい

て検討している。アン

ケート調査の結果でも、

「誰でも乗れるようにす

る。」という回答が53%

あり、利用者促進に繋げ

るためにも検討が必要で

あると考えている。

但し、下校時のバス利

用については教育局と

の調整が必要であり、併

せてルート変更、ダイヤ

改正も行うこととなるた

め、「宇治田原町地域公

共交通検討委員会」で利

用者減少の課題や、更な

る利便性の向上に向けた

改善に取り組む議論を進

めて行く。



宇治田原町役場庁舎



利用者制限緩和を望む福祉バス

福祉バスの土・日・休日運行を

【答】「検討委員会」で論議を進める

【質問】

平日以外も町内、町外

への買い物、各種行事へ

の参加の促進を図るため

福祉バスの土・日・休日

の運行の実施を考えてい

るのか。

についても議論を進めていく。

【質問】

高齢者の外出支援のため

に路線バス代の補助につ

いて、敬老バス、バス

カードの補助等検討を。

【答弁(建設環境課長)】

「宇治田原町地域公共

交通検討委員会」の中で

運行日、運行ルートなど

【答弁(介護医療課長)】

老後の生活を充実させ

る対策が必要ではないか

と考える。



福祉バスの土・日・休日運行を

防災行政無線の整備を

【答】段階的に導入を検討

【質問】

全国各地で地震やゲリ

ラ豪雨が多発する昨今、

防災行政無線、戸別防災

無線などの整備が喫緊の

課題。基本構想では導入

検討というだけで、いつ

までに導入するか明らか

にせよ。

【答弁(総務課長)】

情報伝達システムは、

今年度より役場庁舎から

各小・中学校など5施設

へ災害時緊急放送を瞬時

に行うことができる。ま

た長距離スピーカーなど

段階的な導入を検討して

いる。

【質問】

京都府の今年制定の

「災害からの安全な京都

づくり条例」で、府の役

割として住民に災害情報

を提供する体制整備が明

記された。町としても京

都府に援助を要請し整備

を進めることが重要では

ないか。

【答弁(総務部長)】

国の緊急防災・減災事

業債が平成28年度で終了

することから継続、恒久

的な制度

となるよ

う要望。

財政支援

の拡充も

京都府を

通じ要望

中。



増水する田原川

町内に眼科・耳鼻科を

【答】実施に向けた努力を継続

【質問】

町内に眼科や耳鼻科の

招致してほしいとの声を

聞く。近隣の町に通院す

るために高額なバス、タ

クシー等での通院は家計

を圧迫している。ぜひ眼

科や耳鼻科の実現を。

【答弁(健康児童課長)】

専門医の招致は、今後

においても医療機関と相

談していく中で、実施に

向けた努力を継続する。

新庁舎建設は住民の声を聞け

【答】まずは議会に報告する

【質問】

庁舎建設委員会では、

1カ所だけ○がついた4

つの候補地が示され、決定した。これでは、この場所ありきの議論ではなかったか。

【答 弁 (町長)】

建設予定地は、シビツ

ク交流拠点内の4候補地

から総合評価を実施した結果である。

【質問】

新庁舎の場所は住民に

とって非常に大事。住民の声を聞く場を持つべきではないか。

【答 弁 (町長)】

住民の意見を聞くことは重要。まずは議会で報

告し、意見を聞く。

【質問】

住民の理解は全く得ら

れていない。住民の意見も聞かず、住民が知らない間に庁舎の建設場所を決定する、これが西谷町長のやり方か。

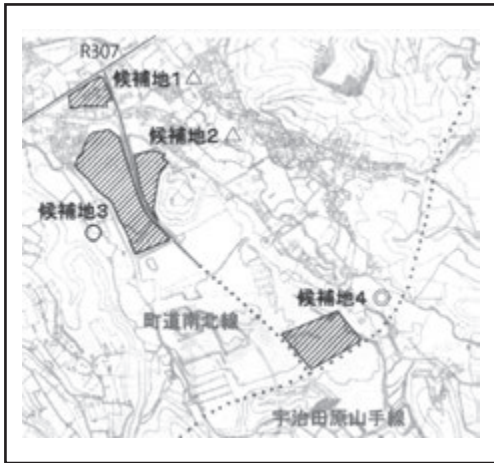
【答 弁 (町長)】

今後、説明、意見調整

は必要だが、昨今の災害は想定外。安全で人の命を守る場所を第一に、将来30年、50年先に住む人のためのまちづくりをしっかり取り組む。



今西久美子 議員



庁舎の場所は住民の声を聞いて

「待機」があることの認識を【答】きちんと認識し、具体策を検討中

【質問】

複数の保護者から「保

育所に入所できない」との声を聞く。育休の延長や、勤務先の保育所を利用しておられるが、これは潜在的な「待機」であ

る。認識を。

【答 弁 (健康児童課長)】

途中入所が困難な状況を早急に対応すべきことと認識し、具体策を検討中である。

【質問】

高校生通学バス代の保

護者負担は大きく、子育て世代の家計を圧迫している。決算委員会での「全額補助について速やかな見直し検討を」との付帯意見をどのように受け止め、どう考えているのか。

【答 弁 (町長)】

「補助金交付要綱」を

見直す中で、検討する。

高校生の通学バス代の全額補助を【答】交付要綱を見直し検討中である



高校通学バス代の全額補助を

町内企業就業推進事業について

【答】企業と若者を結ぶ制度を研究していく

【質問】

高校がない本町において、中学卒業後から若い人に対して「ひとに投資する策」がない。その取り組み案として、就業体験を通して若者のスキルアップを応援する、イン

ターシップ制度を、町ぐるみで創設できないか。

【質問】

【答弁(産業観光課長)】若者を対象に、町内で働く場があることを知っている、インターンシップを研究しつつ、既

地方創生の視点でも「地域で学び地域で働く」仕組みは、町にとつて重要であり、将来の「まち」の担い手育成につな

がる施策についての考えは。

【答弁(企画財政課長)】議員ご提案の、学生や若い方々を産業や福祉、教育など様々な分野において受入れ、育成していくことは重要であり、

【意見】

【質問】

【答弁(社会教育課長)】

田原学童施設は、保護者会からの要望後、壁や床の修理が行われ、育成環境の改善に努力をしていただいているが、今後は、継ぎはぎの補修を続けるより、建て替えをするべきであると考えるが。

【答弁(社会教育課長)】施設の建て替えについては、検討しているところだが、学童施設が子どもたちにとって、生活や遊びの場として心身健康に過ごすことができるよう前向きに進めてまいりたい。



宇治田原町 就職支援セミナー 参加無料

～あなたの就職にきっと役立ちます～

第1回 平成28年 12月26日(月) 午後1時30分～3時30分 宇治田原町総合文化センター3階 研修室1

第2回 平成29年 1月6日(金) 午後1時30分～3時30分 宇治田原町林業センター2階 研修室

定員各回 40名

学生、仕事を希望の方、保護者の方、ご参加いただけます。

TEL:0774-88-6638

マッチングセミナー案内チラシ



馬場 哉 議員

放課後児童健全育成事業について

【答】施設の建て替えについて検討している

【質問】

田原学童施設は、保護者会からの要望後、壁や床の修理が行われ、育成環境の改善に努力をしていただいているが、今後は、継ぎはぎの補修を続けるより、建て替えをするべきであると考えるが。

【答弁(社会教育課長)】

施設の建て替えについては、検討しているところだが、学童施設が子どもたちにとって、生活や遊びの場として心身健康に過ごすことができるよう前向きに進めてまいりたい。



修理された施設壁面だが…

「お茶の京都」拠点づくり

【答】具現化に向け積極的に

【質問】

主要産業のお茶を活かすことができる「お茶の京都」事業のターゲットイヤヤーが、29年度となっている。この事業の成功が本町のお茶産業や観光行政にとって大きな変革

をもたらすことと大いに期待しているが、成功に向け「緑茶発祥の地宇治田原」の歴史的資源の活用と来訪者の受け入れ環境の整備が必要である。その進捗状況は。

【答弁(産業観光課長)】

湯屋谷地区の永谷宗円生家が観光振興計画において、観光ネットワークの拠点の一つに位置づけられ、戦略的な交流拠点づくりやお茶をテーマにした広域観光・交流促進



浅田晃弘 議員

進・地域活性化を進めるため、宗円生家を中心とした湯屋谷エリアを「お茶の京都」の重点的交流拠点として整備をすることをしている。

現時点での整備状況は、「日本遺産案内板」、「宇治茶かおり回廊」といった案内サインの整備を昨年度から行っている。

今年度については、車での来訪者対策として湯屋谷会館の駐車場を整備し、宗円生家の周辺環境の整備として、生家進入路の改修を進めるなど、来訪者がこの地域の歴史に触れ、散策を楽しんでい

ただけるよう、生家の屋根の改修や湯屋谷エリアのベースとなる茶工場のリノベーションなど、地域住民の皆様とともに描いた「やんたん未来プラン」の具現化に向け積極的に取り組んでいく。

【質問】

環境整備を行った交流拠点を活かしていくためのソフト面での取り組みは。

【答弁(産業観光課長)】

や地域特有の景観、行事、歴史などを広く発信するためのPRビデオの制作を進めている。

地域の方や大学生ボランティアの協力を得て、夏の夜をあかりで彩る「やんたん灯(あかりまつり)」を開催するなど新たなにぎわいづくりに取り組み、地域の歴史や伝統を大事にしつつ、灯りを様々に活用するなど、新しい魅力を付加し、来訪者が楽しめる企画を今後も展開していく。



永谷宗円生家 進入路



やんたん未来プラン

避難所の耐震及び安全点検の現状は

【答】防災上の観点からも総合的に点検する

【質問】

先般の熊本地震に於いて、構造体の被害だけでなく、非構造部材の損傷により、県内の公立学校

た。本町の避難所の耐震及び安全点検の現状は。

【答弁（総務課長）】

て、構造体の被害だけでなく、非構造部材の損傷により、県内の公立学校の1/3の73校で体育館が使用できない状況が発生した。非構造部材の窓の脱落・天井・照明の脱落やズレなど大きな被害が出た。本町の避難所の耐震及び安全点検の現状は。器具が落下しないとは限らないのが現状。有事の際、非構造部材を含めた避難所内部の耐震対策も検討していく。



避難所になる体育館



原田周一
議員

特養老人ホームの進捗は

【答】一日でも早く開設できるように努める

【質問】

入所待機者については年々増加している。仮に、第6期の計画期間内にサービス提供ができない場合、29年度中に見直しされる第7期高齢者介護・福祉計画で整備する計画であるのか。

入所申込者やその家族、そして住民の方の思いに込められるように、第6期の計画期間中に

は、整備に着手できるよ

う努力する。

は、整備に着手できるよ



通学利用の路線バス

高校生通学補助全額補助は

【答】「高校通学費補助金交付要綱」の見直しを含め検討

【質問】

先日の決算委員会に於いて、全額補助すべきとの付帯意見を付けて認定すべきとの結論が出された。内容は、補助率を10/10に引き上げるなど速やかに見直し検討を行う

こと。との意見である。

全額補助の場合現状の年間実績から幾らの増額になるのか。

今後、予算協議において「高校通学費補助金交付要綱」の見直しを含め検討を行っていく。

送迎・回数券など利用している生徒も全額補助すると約3,700万円と想定。

【答弁（教長部長）】

型小規模特別養護施設サービス提供に係る費用を約8,600万円と見込み、利用人員を29名として計画を立てている。

【答弁（介護医療課長）】

【答弁（教長部長）】

事業に要する額は、平

これから宇治田原町のために頑張ります ～12人からのひとつことメッセージ～

(議席順)



山内実貴子

皆様の声が私の原動力です。宇治田原町のこんなところが好き！といえるまちづくり目指し、皆様の声を大切に、町政へと届けてまいります。



浅田 晃弘

新人ですが、皆様の期待に応えられるよう「お茶のまち宇治田原」をさらに元気で、活気溢れる町にするために一杯、頑張つて参ります。



谷口 重和

誰もが住んで良かった、幸せと安心安全に暮らせる心豊かな理想の故郷創りに、積極的な議会活動を展開し、粉骨碎身の境地でがんばります。



今西久美子

住民要求と草の根で結びつき、はつきりモノを言いしっかり働きます。子育て支援充実、年老いても安心して暮らせる街めざして頑張ります。



原田 周一

監査委員として3期目の出発。二元代表制のもと、高齢者福祉・教育等の諸課題に向け、所管の委員会等通じて実現に行動力で取り組みます。



松本 健治

基本的なスタンスは、常に住民視線を忘れずに「住民ファースト」で議会活動に臨むことです。皆さんのご期待に応えられるよう頑張ります。



谷口 整

議会へ送り出していただきありがとうございます。普段の暮らしを幸せに！新人目線でも安心して暮らせる町づくりを目指します。



山本 精

いつまでも安心して住み続けられる、子育てするなら宇治田原といわれる町づくりの推進のために、住民要求を大切に活動を進めます。



垣内 秋弘

住民の皆様の声をしっかりと受け止め、町政に反映し安心安全なまちづくりに取り組み、積極的な議会活動を展開し、全身全霊で頑張ります。



田中 修

新名神開通を軸に、交通インフラ整備を推進し、赤ちゃんからお年寄りまで便利で安全に安心して暮らせる町づくりの為、全力を尽くします。



藤本 英樹

この度初当選させていただきました。若さと行動力を持って住民の皆様方のご意見を町政へ伝えて参りますので、宜しくお願いいたします。



馬場 哉

宇治田原町の「いいところ」を磨き【魅力あるまち】を目指します。新人議員として住民の皆様への負託に、応えられるようがんばります。

むら た たけし
村田 壮 さん

成人式を迎えられた、実行委員長の村田 壮さんにインタビューをしました。



Q. 成人式を迎えての感想は

A. 一瞬でした。この20年間、様々なことがあり良い経験を積むことができました。
今日は、小中学校時代の仲間と会えることが楽しみです。また、成人したということで、自分の人生を自由に歩むことができますが、常に責任が伴うことを、頭に入れておかなければいけないと、改めて考えさせられました。

Q. 夢または将来挑戦したいことは

A. 一度海外で生活してみたいです。高齢者や体の不自由な方をサポートできる器具を設計・開発し、社会の役にたちたいと思います。

Q. 宇治田原町に望むことは

A. 交通面です。定期購入補助の拡大を望みます。

Q. 趣味は

A. サッカーです。宇治田原町のFC鷺峰でサッカーの楽しさを知り、育てていただきました。今は、大学のサッカーサークルで同好会日本一を目指しています。

Q. 選挙権が引き下げられ18歳となったが、政治に対してのご意見は

A. 若い世代が政治に対して興味を持つ良いきっかけになっていると思います。自分も選挙権を持ったことを機に政治の事を考えるようになりました。選挙の時1つ自分が感じたことは、名前をアピールするのではなく、何をやりたいのか？その内容をアピールしてほしいと感じました。





ライトアップされた宗円生家



やんたん灯まつり



かんじょうなわ
神上縄(禅定寺)

議会からの お知らせ

議会報告会は、昨年8月の開催で5回目を数えました。

過去に開催した報告会の内容面、参加者の状況、質疑内容と経過なども含め、一度検討する時期にあるのではないかと判断しています。

また昨秋の町議会選挙で大幅な議員構成の変動があり新議員の協議会でも話し合った結果、2月に開催予定であった「報告会」は見送り、次年度内に方向性を出していく事としました。住民の皆さまと議会が、より良い関係で皆さまの思いが議会活動で活かされるためのもとなるよう検討したいと思っておりますので、ご理解をよろしく願います。

今号の表紙

明るく誇らしげな新成人の皆さん。今までお世話になった方々に、感謝の気持ちを忘れずに…。

(浅田)

編集 後記

穏やかな新年の幕開けとなりました。今年もまた、皆様のご健康とご多幸を願い、働いてまいります。議会だよりの編集も新たなメンバーでの発行となります。

本誌、議会へのご意見、ご感想をお寄せ下さい。
広報編集委員長 山内



広報編集委員

次回議会の予定

〈3月定例会〉

3月3日(金)開会日

詳しい予定はHPにて
お知らせします